

インクルーシブ教育システムの推進 乙訓教育局

共生社会の実現に向けて、学校では障害のある子どももいない子どもも、可能な限り一緒に学ぶ仕組み(インクルーシブ教育システム)をつくるのが大切です。

乙訓教育局では、特別支援学級の担任だけでなく全ての先生が障害についての知識や理解を深め、指導力を高められるように、特別支援教育に関する様々な研修を行っています。その中でも特に力を入れているのが、昨年度から始めた「通常学級担任のための発達障害理解研修」です。

うまくコミュニケーションがとれなかったり、落ち着きがなくなったりする理由を考え、全ての子どもたちが生き生きと活動できるあたたい学級づくりや授業の進め方について研修を重ねています。昨年度に引き続き、桃山学院教育大学の松久眞実教授を講師にお迎えし、3回シリーズで実施する予定です。



第69回全国高等学校PTA連合会大会 京都大会 開催!

全国各地から約1万人のPTA会員や教育関係者のみなさんをお迎えし、大会テーマ「Kyōから! 未来を拓く」~受け継ぎ、創る新たなストーリー~のもと、今日的な課題について交流します。京都で初めての開催となります。

- 大会期日 2019年8月22日(木)・23日(金)
- 開催場所 京都市勤業館みやこめッセ、ロームシアター京都
- 内容

- 分科会
「<よくできる>とはどういうことか?—大学は、自分の可能性を見つける場である」「子どもたちを育む環境づくり」「すぐそこの未来のしごと」「高校生の人間関係について考える」ほか全6分科会
- 記念講演
日本電産株式会社
代表取締役会長 永守 重信 氏
- 「京の大学」「京の企業」「京の文化財」訪問や生徒アトラクションなども実施



平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰 受賞者

教職員

大山崎町立大山崎小学校	教諭	井上 桂子
宇治市立西小倉中学校	教諭	小川 隆志
木津川市立加茂小学校	教諭	杉山 育代
京丹波町立蒲生野中学校	教諭	森田 江里
綾部市立綾部小学校	養護教諭	藤井 理香子
福知山市立惇明小学校	教諭	麻生 博幸
与謝野町立与謝小学校	教諭	上野 桃子
京都府立洛北高等学校	学校施設管理職員	橋元 弘嗣
京都府立桂高等学校	実習教諭	佐藤 庸平
京都府立福知山高等学校	教諭	倉内 邦行
京都府立舞鶴支援学校	教諭	加志村 直子

※在籍校は受賞当時の学校

教職員組織

鳥羽披講会(京都府立鳥羽高等学校)



京都府立桂高等学校
実習教諭 佐藤 庸平

農業系専門学科で、専門的・先進的な研究活動を指導しています。指導するゼミ班は、平成25年度に日本学校農業クラブ全国大会食料・生産部門の最優秀賞を受賞。

地元の小学校や農業組合法人等と連携し、小学校の花壇を花いっぱいにする取組や、地域の特産品の知名度を上げる取組など、積極的な地域貢献活動を行っています。

また、日本で知名度の低かったポリビアの穀物キヌアを広める活動を行い、生徒とともに国連大学本部でポリビア共和国大使などの前で研究成果の発表も行いました。

京都府高校生等 修学支援事業のお知らせ

勉学意欲がありながら経済的理由により
修学が困難な高校生等に対する修学資金の貸付をしています。

修学資金は生徒が将来返還しなければならない資金です。

お問い合わせ先
在学している高等学校等 又は
京都府教育庁高校教育課 修学支援担当

電話:075-574-7518

住所:京都市伏見区桃山毛利長門西町
(京都府総合教育センター内)

お問い合わせ先

電話:075-574-7518

住所:京都市伏見区桃山毛利長門西町
(京都府総合教育センター内)

ひとりで 悩まないで!

電話教育相談
(毎日24時間対応)

ふれあい・
すこやかテレフォン
075-612-3268
または 3301
0773-43-0390

メール教育相談

「メール教育相談 京都」で検索してください。
携帯電話からも相談できます。
※携帯電話の場合、受信番号指定を解除してください。

来所教育相談

京都府総合教育センター(伏見区)及び北部研修所(綾部市)で、臨床心理士、精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

巡回教育相談

乙訓(向日市)・山城(京田辺市)・南丹(南丹市)・丹後(宮津市)の各教育局、アプリセンター大宮(京丹後市)で、臨床心理士等が直接会ってお話をうかがいます。

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

ネット
いじめ
通報サイト

ネット上でいじめを発見したら通報してください。



体罰専用
相談電話

075-612-5013
(毎週水曜日 11:30~18:30)

府教委 広報

きょうとびの教育

No.142
令和元年春号

発行:京都府教育委員会
編集:京都府教育庁管理課
総務企画課
電話:075-414-5710
URL: http://www.kyoto-be.ne.jp



特集
今年度当初予算
豊かな学びの
環境づくり

新年度 あいさつ



京都府教育委員会教育長
橋本 幸三

「平成最後の夏休み」、「平成最後のお正月」。そうした言葉が飛び交った一年が過ぎ、いよいよ新しい元号「令和」がスタートします。

学校では新入生を迎え、全校の児童生徒が新たな気持ちで勉強や部活動などに取り組んでいるところです。

そんな中、グローバル化の波やAI(人工知能)をはじめとする技術の進歩は、私たちの生活をさらに劇的に変えようとしています。

学校教育の基礎となる「学習指導要領」は、プログラミング教育や小学校における英語教育の導入など、時代の要請に応じた改訂がなされました。

未来の創り手である子どもたちが、変化の激しい時代を生き抜くことができるよう、新しい時代の教育を進めていかなければなりません。

同時に、教職員の働き方の抜本的な改革も求められています。部活動指導の適正化や学校・家庭・地域の役割分担の明確化など、長時間労働の見直しは、質の高い教育の実践にもつながります。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

昨年度は、地震や豪雨、台風や記録的な猛暑など自然の猛威に多くの人の安心・安全が脅かされ、学校でもブロック塀の改修をはじめ、各種の対策を進めてまいりました。

また、いじめや家庭内の虐待により、子どもの命が奪われるという大変残念な事件もあり、学校や教育委員会の対応の不備に対して、厳しい批判も集まりました。

京都府においては、いじめを例に挙げますと、認知件数が全国でも1~2位という多さでしたが、決して京都の子どもたちに特別にいじめがはびこっているということではありません。いじめを隠蔽することなく、また、些細なトラブルや一時的な嫌がらせも、子どもの気持ちに寄り添って丁寧な対応を、対応してきた結果だと考えています。

今後も、京都府教育委員会は、次代を担う子どもたちが幸せな未来を創り出せるよう、学力の向上や個性の伸長に尽力するとともに、子どものSOSにきちんと向き合うこと、安心・安全な教育環境を整備することに全力を尽くしてまいります。

豊かな学びの環境づくり 今年度当初予算

総額 1,296億2,357万円

学力向上対策など様々な施策を実施するための事業費
14.4% 186億4,923万円

小・中学校や府立高校、府立特別支援学校の教職員等の人件費
85.6% 1,109億7,434万円

新 は今年度から開始する施策

拡 は前年度より内容の充実や人員の増員を図る施策

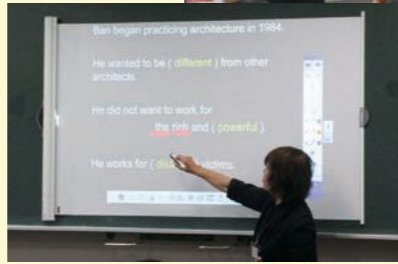
※全校実施とは限らず、一部の学校や抽出実施が含まれます。

※一部再掲があります。

49億8,581万円

学力向上対策

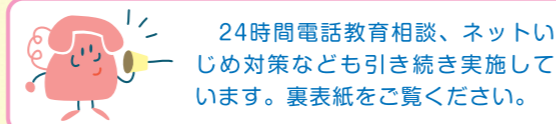
- 新** 幼児教育の質の向上と、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続のため、「幼児教育アドバイザー」を配置します。(8,000千円)
- 新** 知識や技能などの認知能力と意欲や粘り強さなどの非認知能力を一体的にはぐくむ実践的研究として、中学校ブロック内の幼・小・中が連携して取り組む事業や、企業等と連携して、「答えのない課題」に対し長期的・継続的に取り組む「課題解決型学習」を実施します。(7,500千円)
- 新** 府立高校の全普通教室に電子黒板機能付きプロジェクタや教員用タブレットなどを整備し、ICTを活用した新しい学びを推進します。(2022年度までを目途に全府立高校で整備) (99,000千円)
- 拡** 公開授業や研修を通じて英語教育を先導する「小学校英語教育推進教員」の配置を拡充します。(159,635千円)
 - 中学2年生を対象に英語4技能テストを行い、今後の英語指導に活用します。(5,000千円)
- 拡** 高校1・2年生を対象に民間の英語4技能テストの受検料の1/2を助成し、英語によるコミュニケーション能力を育成します。(37,382千円)
- 新** Web配信により研修を受講できるシステムの整備や海外派遣研修を実施するとともに、小・中学校の教員の英語指導力向上のための取組を強化します。(12,500千円)



5億4,684万円

いじめ防止 不登校支援 貧困対策

- 新** 市町村が設置する教育支援センターにスクールカウンセラー等の専門家を配置し、不登校児童生徒支援の拠点としての機能強化を図ります。(15,000千円)
- 新** 「家庭教育アドバイザー」を配置し、家庭教育に悩みや不安を抱える家庭への訪問など、アウトリーチ型の支援を行います。(3,200千円)
- 拡** 多額の通学費を負担する高校生の保護者に対する補助制度について、低所得世帯への支援を拡充します。(8,000千円)



2億7,016万円

特別支援 教育の充実

- 新** 特別支援学校のICT環境を整備し、社会的自立や企業就労につながるICT活用能力をはぐくみます。(11,000千円)
 - 清掃・接客・パソコン実務・介護の分野の「京しごと技能検定」を実施し、特別支援学校生徒の就労意欲や企業就労率の向上を図ります。(2,500千円)
 - 地域と一体となって共生社会の実現を担う「地域と共に歩む学校」のモデルとなる特別支援学校を井手町に新設するとともに、教育と福祉の総合的な連携による切れ目ない支援の充実を目指し、向日が丘支援学校の改築整備を進めます。(2,119,000千円)

1億3,145万円

地域を支える 人材づくり

- 新** 府立高校の職業系専門学科における実習設備の充実を図ります。また、地元企業や公設の試験研究施設と連携して、高校生が最先端の知識や技術を学べる実践的な教育を実施し、地域の即戦力となるものづくり産業の担い手を育成します。(48,000千円)



44億898万円

府立学校 施設整備

- 自分のペースで「自立心・主体性」を身につけることができる、生徒一人一人のチャレンジをサポートする新しい高校を府立峰山高校弥栄分校校地に新設します。(2020年春開校予定) (520,000千円)
- ブロック塀の倒壊防止等の安全対策や、避難所としての役割も果たす学校施設の防災機能の強化(トイレの洋式化等)を推進します。(1,154,844千円)
- 学校施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、予防保全型の改修による施設の長寿命化を図ります。(625,140千円)

- 山城地域の特別支援学校における児童生徒数の増加に対応するため、井手町に特別支援学校を新設します。(2021年春開校予定) (2,109,000千円)



井手町に新設予定の特別支援学校イメージ図

6億899万円

教職員の 働き方改革

- 専門スタッフなどの配置や部活動指導の適正化、学校・家庭・地域との役割分担の明確化と連携・協働など、教員の働き方改革を総合的に実行し、質の高い教育を実践できる環境を整えます。
- 拡** 学校部活動支援のため、「部活動指導員」など学校の実態に応じた外部人材を配置します。(37,369千円)
- 拡** 教員の事務作業を補助する「スクール・サポート・スタッフ」を小学校に配置し、授業準備等に集中できる環境を構築します。(23,993千円)
- 多様な課題を抱える児童生徒に専門的な見地からきめ細やかな指導ができるよう、「スクールカウンセラー」や「まなび・生活アドバイザー」を配置・派遣します。(383,945千円)



22億2,640万円

文化財の 保存・活用

- 新** 「文化財保存活用大綱(仮称)」を策定し、京都府における文化財の保存・活用の方向性を明確化します。また、市町等における計画の策定を支援します。(3,000千円)
- 新** 文化財の活用促進のため、見映えを良くするための美装化やスロープ設置・トイレ改修など、環境整備のための経費を支援します。(7,500千円)
- 新** 府立高校生や歴史学科・建築学科等の大学生を対象に、文化財の保存や修理、職人の仕事に興味をもってもらうよう、建造物修理現場の見学や職人体験等を実施します。(2,000千円)
- 新** 国宝等の保存修理現場を間近に見学できる特別公開と府域の周遊をセットにした観光ツアーを行います。(5,000千円)



文化財建造物修理現場(本隆寺本堂)